

Design  
your  
passion

株主のみなさまへ  
**第87期 中間報告書**

2011.4.1-2011.9.30

(平成23年4月1日-平成23年9月30日)

株主のみなさまへ.....01

財務ハイライト.....03

**トピックス** 新しい時代に向かって、.....05  
欧州からグローバル展開を加速





取締役会長

箕浦輝幸

取締役社長

豊田周平

## 株主のみなさまへ

**平**素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに「第87期 中間報告書」をお届けし、当社グループの経営方針を改めてご説明いたしますとともに、当期（2011年4月1日～2011年9月30日）の業績概況、事業概況をご報告いたします。

### 更なる事業基盤の確立に向け、 取り組みを強化しております

**ト**ヨタ紡織グループでは、「第2の創業期」と位置づけた2010年度までの活動成果を礎に、今年度からは世界トップ企業へ向け、さらなる飛躍を目指し、

全社一丸となり取り組んでおります。

今年6月、オーストリアに本社を置くPOLYTEC社の自動車部品事業のひとつである内装事業を取得し、初めて独大手自動車メーカーとのビジネスをスタートさせたことをはじめ、EU初のシートフレーム生産拠点であるTBAIポーランド、シート生産拠点であるトヨタ紡織ソマンが生産を開始いたしました。また9月には、デザイン開発力の向上を目指し、イタリアミラノに「トヨタ紡織ミラノデザインランチ」を新設。日本においては、テストコースの建設を決定、独自の評価設備を持つことで、よりユーザー目線に立った製品開発・モノづく

りの実現を目指します。今後グローバルでの競争がさらに激化することが確実な中で、トヨタ紡織グループは、以上のような取り組みを着実に前進させ、強い覚悟で挑戦してまいりたいと思います。

その中でも、POLYTEC 社の事業買収は、その大きな一歩となると認識しております。欧州車特有の技術ノウハウと、トヨタ紡織がこれまで培ってきたモノづくりの融合により、魅力的で高品質な製品づくりが可能になることに加え、独大手自動車メーカーと取引関係を構築できることは、今後グローバルでビジネスを拡大させる上で、大きなチャンスになると考えています。

今後もあらゆる顧客ニーズに対応できる独自の技術力の向上、よりよいモノづくりに努め、株主のみなさまの信頼にお応えできるよう取り組んでまいります。

## 東日本大震災の影響などにより、 前年同期比で減収減益の 厳しい結果となりました

**上** 半期の業績につきましては、東日本大震災の影響などによる減産減収、製品価格変動の影響などがあり、前年同期比で減収減益という結果となりました。

震災によるサプライチェーンの混乱は、日本だけでなく、海外各地域にも大きな影響を与え、工場の稼働停止を余儀なくされ、第1四半期を中心に厳しい結果となりました。また世界的な円高も各地域業績に大きなマイナス影響を与える要因となりました。

これらの結果、当期の連結の売上高は4,008億円（前年同期比1,027億円減）、営業利益54億円（同159億円減）、経常利益56億円（同141億円減）、当期純利益△14億円（同105億円減）という業績となりました。

また配当金につきましては、これまでの業績推移、経営環境などを踏まえて、前期中間配当金より1円減配の1株当たり配当金7円とさせていただきます。

## 今後も新たな成長の実現を、 目指していきます

**通** 期業績予想に関しましては、売上高9,300億円、営業利益260億円、経常利益280億円、当期純利益110億円と、6月の公表数値を据え置いております。東日本大震災の影響による生産台数の著しい減少から回復しつつありますが、当社を取り巻く環境は決して楽観できるものではありません。歴史的な円高の進行、タイの大洪水災害によるサプライチェーンへの影響など予断を許さない状況にあり、先行きは大変不透明であります。

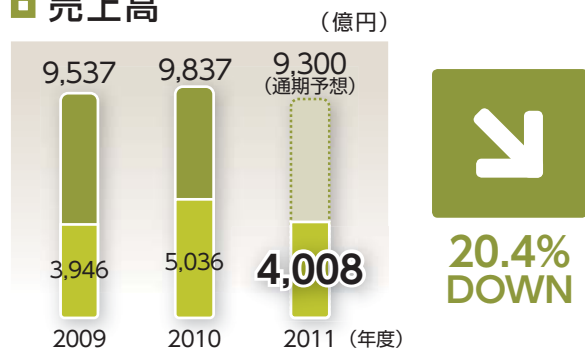
大変厳しい状況の中ではありますが、トヨタ紡織グループ全社のチームワークを発揮し、今後も新たな成長の実現を目指していきます。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 財務ハイライト

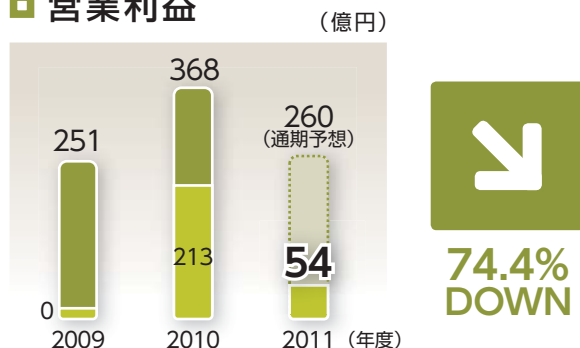
■ 第2四半期累計 ■ 通期 ■ 通期予想

## 売上高



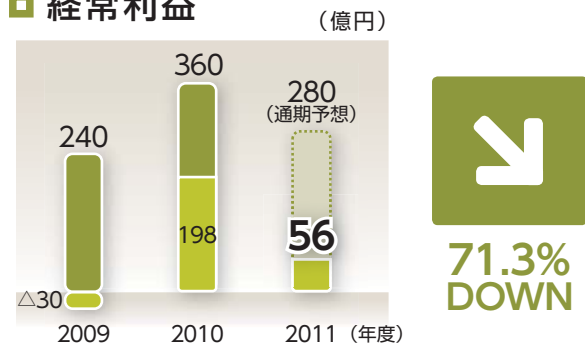
東日本大震災の影響による各地域での販売台数の減少により減収となりました。

## 営業利益



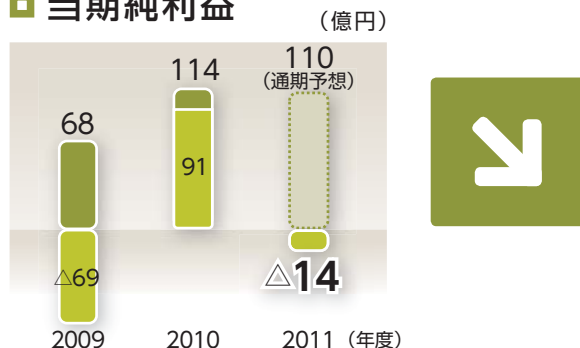
合理化効果などの増益要因はありましたが、販売台数減少による減産減収の影響や、製品価格変動の影響などにより減益となりました。

## 経常利益



営業利益と同様に、減産減収の影響などにより減益となりました。

## 当期純利益



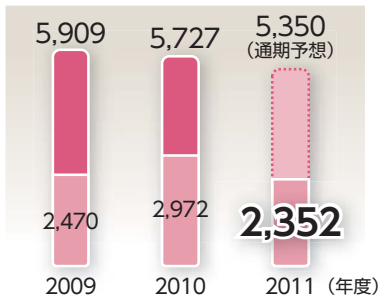
震災の影響による特別損失の計上、経常利益の減少などにより減益となりました。

# 地域別事業概況



## 日本の売上高の推移

■ 第2四半期累計 ■ 通期 ■ 通期予想 (億円)



**20.9%  
DOWN**

トヨタ プリウスαなどの新車効果はありましたが、東日本大震災の影響による稼働停止などにより、前第2四半期累計に比べ620億円減少の2,352億円となりました。



## 北中南米の売上高の推移

■ 第2四半期累計 ■ 通期 ■ 通期予想 (億円)



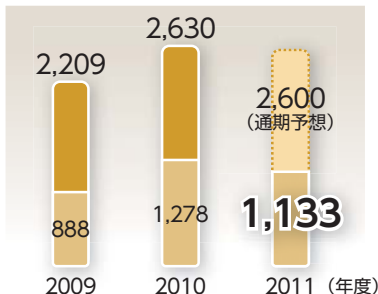
**33.7%  
DOWN**

震災の影響による稼働停止や円高の影響などにより、前第2四半期累計に比べ312億円減少の614億円となりました。



## アジア・オセアニアの売上高の推移

■ 第2四半期累計 ■ 通期 ■ 通期予想 (億円)



**11.3%  
DOWN**

中国でのRV系車種の増産効果はありましたが、震災の影響による稼働停止や円高の影響などにより、前第2四半期累計に比べ144億円減少の1,133億円となりました。



## 欧州・アフリカの売上高の推移

■ 第2四半期累計 ■ 通期 ■ 通期予想 (億円)



**19.9%  
UP**

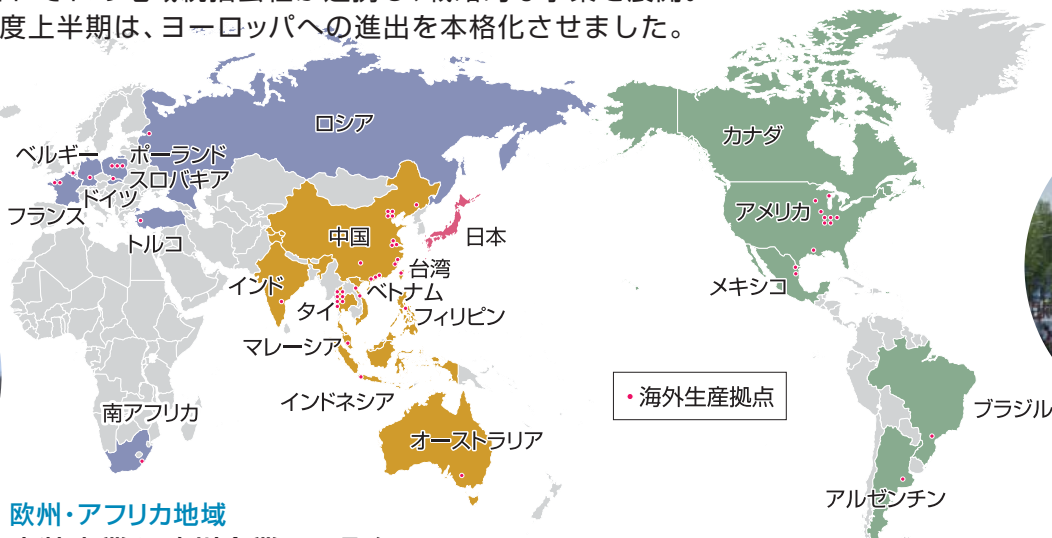
震災による稼働停止の影響などはありましたが、フランスでコンパクト系車種の新車効果などにより、前第2四半期累計に比べ21億円増加の127億円となりました。

# トピックス

トヨタ紡織グループの新しい時代に向かって、欧州からグローバル展開を加速

## 新しい挑戦を通しグローバル

真のグローバルカンパニーとしてさらなる成長を図っていくために、日本とそれぞれの地域統括会社が連携し、戦略的な事業を展開。2011年度上半期は、ヨーロッパへの進出を本格化させました。



トピックス  
01

### 欧州・アフリカ地域

#### 内装事業を欧州企業から取得 ドイツ大手自動車メーカーとのビジネスをスタート

欧州を中心に自動車用部品事業を展開する POLYTEC Holding AG (POLYTEC 社) の内装事業を、欧州地域統括会社の TOYOTA BOSHOKU EUROPE (TBEU) を通じて取得。2011年7月より BOSHOKU AUTOMOTIVE EUROPE GmbH (以下 BAE 社) として、ドイツを基点に3カ国で営業を開始しました。POLYTEC 社はドイツ大手自動車メーカーの内装部品を手掛けており、今回の事業取得により、欧州技術とのコラボレーションによる内装技術力の強化と、欧州自動車メーカーとのビジネス開始を同時に実現することになりました。将来的には、シートへの事業範囲拡大や、欧州自動車メーカーの欧州以外の海外展開にも積極的に参画していきます。



オープニング  
セレモニー



BAE 本社

天井



ドアトリム



シートバックボード

# カンパニーへ進化しています



## トピックス 02 欧州・アフリカ地域 EU初のシートフレームの拠点、 TBAIポーランドで生産開始

2009年にアイシン精機株式会社との合併で設立したTBAI POLAND (TBAI)で、新型ヤリスに搭載される新しいシートフレーム「TB-NF110シリーズ」の生産を2011年6月に開始しました。同シリーズは、自動車の燃費性能向上への寄与を目的としたシートフレームで、軽量化・省資源化を図りながらも乗り心地性能を追求しています。



TBAIの外観

### 新世代シートフレーム「TB-NF110」

材質の一部に高張力鋼板を使用し、軽量化や省資源化を図りながらも、乗り心地を高めたのが特徴。今後さらに多くの車種へ展開していきます。



## トピックス 03 欧州・アフリカ地域 フランスの拠点TBSOで、 新型ヤリスのシートを生産開始

EU域内ではトヨタ紡織として初めてのシート生産拠点であるTOYOTA BOSHOKU SOMAIN (TBSO)で、2011年7月、新型ヤリスのシートの生産を開始しました。TBSOはシートに加え、天井やキャビンエアフィルターなどの生産も行っています。



TBSOの社員

生産を開始した  
新型ヤリスのシート

## 🇮🇹 ミラノにデザイン拠点を新設

2011年9月、デザイン発信地であるミラノに、欧州における初のデザイン拠点 TOYOTA BOSHOKU MILAN DESIGN BRANCHを新設。デザイナーが欧州トレンドを把握しながら感性を磨き、開発力を向上させています。



デザインスタジオ

# トピックス

時流に先んじたモノづくりと、皆さまに喜ばれる企業市民としての活動

## 価値ある製品を世の中に送り出し、

世界のどの国のお客さまにとっても魅力ある  
高品質でグローバルに通用する製品をお届けするとともに、  
社会に貢献する企業づくりを進めています。

トピックス  
04

技術・開発力

24時間耐久レース参戦車両  
「レクサスLFA」にレース専用シートを搭載

トヨタ自動車株式会社、株式会社童夢カーボンマジックと共同で、自動車レース専用シートを開発。このシートは、2011年6月にドイツで開催された「ニュルブルクリンク 24時間耐久レース」にGAZOO Racingより参戦した車両「レクサスLFA」2台に搭載されました。体にフィットしやすく耐久性に優れた表皮の採用や、独自意匠を表皮に施すなど、今まで培った技術を応用してシートを開発。なお、レース実戦を通じて得られた知見は、一般車両のシート開発にも活かしていきます。



レクサスLFA



レース専用シート

トピックス  
05

技術・開発力

上海国際モーターショーに初出展

2011年4月、上海国際モーターショーに初めて出展し、トヨタ紡織が中国で生産・販売しているシートやドアトリム、フィルターなどをフルラインナップで展示。拡大する中国市場でのさらなる知名度向上を図りました。



当社ブース

トピックス  
06

技術・開発力

トヨタ紡織独自の  
テストコース新設を発表

2011年8月、テストコースを備えた「多治見技術センター」を新設することを発表しました。独自のテストコースを持つことで、プロジェクトに関わるすべての人が、タイムリーに現地現物での評価と、ユーザー目線での開発が可能になります。



立地協定締結式



# 人々から信頼される企業を目指して



## トピックス 07

### 社会貢献

#### 東日本大震災の被災地で、復興支援ボランティアを実施

トヨタグループ各社と協働で、6月～11月に4泊5日の日程で、東日本大震災の被災地である岩手県大船渡市や陸前高田市などにボランティアを派遣。民家のがれき撤去や側溝の泥出し、避難所や仮設住宅周辺の草刈りなどを実施しました。また、4月～10月にかけて、トヨタ紡織東北の社員もトヨタグループなどと協働で、岩手県大槌町でがれき撤去や屋内片付け等を実施しました。



被災地で活動する  
トヨタグループ社員



### 参加者の声

1日約5時間力いっぱい活動しても、片付けられたのはほんの一部。復興には時間がかかると実感しました。小さな力でも多くの支援の手が集まり、大きな力になることを願っています。

(刈谷製造部 佐藤貴史)

## トピックス 08

### 社会貢献

#### 滋賀県で森づくり活動をスタート

トヨタ紡織滋賀は「琵琶湖森林づくりパートナー協定」に基づき、2011年6月にトヨタ紡織グループの社員とその家族や、来賓の方など約50人で、山林へと続く作業道の整備や清掃活動を実施しました。



森づくり活動開始を記念した看板の除幕

## トピックス 09

### 社会貢献

#### 地域の子どもたちとともに 間伐材を使って工作体験

刈谷市内中学校の特別支援学級の生徒たちを対象に、間伐材を利用した工作教室を6月に開催。環境活動と青少年育成を両立した環境教育を通じて、企業と地域社会との絆づくりを進めることができました。



社員ボランティアと生徒との交流

# 決算概要

## 連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (2011年9月30日)	前期末 (2011年3月31日)
<b>●資産の部</b>		
流動資産	333,525	279,177
固定資産	218,225	225,294
有形固定資産	182,247	190,277
無形固定資産	4,844	2,841
投資その他の資産	31,134	32,175
<b>資産合計</b>	<b>551,751</b>	<b>504,472</b>

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (2011年9月30日)	前期末 (2011年3月31日)
<b>●負債の部</b>		
流動負債	206,440	185,282
固定負債	163,232	122,196
<b>負債合計</b>	<b>369,672</b>	<b>307,479</b>
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	186,082	189,001
その他の包括利益累計額	△ 30,718	△ 23,936
新株予約権	1,003	872
少数株主持分	25,711	31,055
<b>純資産合計</b>	<b>182,078</b>	<b>196,992</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>551,751</b>	<b>504,472</b>

## 連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (2011年4月1日～ 2011年9月30日)	前第2四半期累計期間 (2010年4月1日～ 2010年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>400,825</b>	<b>503,604</b>
売上総利益	30,569	47,024
販売費及び一般管理費	25,090	25,631
<b>営業利益</b>	<b>5,478</b>	<b>21,392</b>
営業外収益	4,478	4,831
営業外費用	4,268	6,403
<b>経常利益</b>	<b>5,688</b>	<b>19,821</b>
特別損失	3,288	254
税金等調整前四半期純利益	2,400	19,566
法人税等合計	1,738	6,332
少数株主利益	2,098	4,081
<b>四半期純利益又は四半期純損失(△)</b>	<b>△ 1,436</b>	<b>9,152</b>

### 第2四半期配当金について

2011年9月30日の最終の株主名簿（実質株主名簿を含む）に記載、もしくは記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり第2四半期配当金をお支払いします。

1. 第2四半期配当金：1株につき7円
2. 効力発生日ならびに支払開始日：2011年11月25日

### 当社のIR活動

東北・中部・九州など、当社の生産拠点地域を中心に、個人投資家向けセミナーを積極的に開催し、投資家のみなさまとのコミュニケーションを図っています。また、個人株主のみなさまに、生産ライン見学を通じてトヨタ紡織グループへの理解を深めていただくため、定期的に工場見学会を開催しています。



個人株主様向けの工場見学会

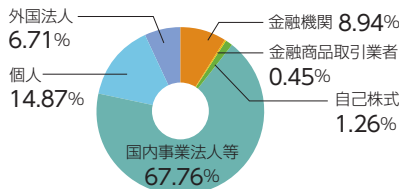
# 会社の概況 (2011年9月30日現在)

## 株式の総数

発行可能株式総数 ..... 500,000,000 株  
発行済株式の総数 ..... 187,665,738 株

## 株主数 (20,719 名)

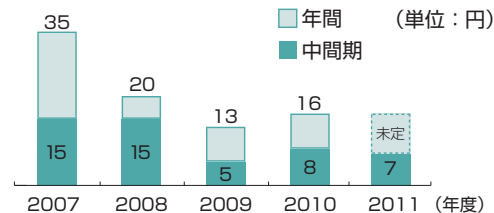
### ●所有者別株式分布状況



## 大株主 (上位10社)

株主名	持株数(株)
トヨタ自動車株式会社	73,653,995
東和不動産株式会社	18,346,209
株式会社デンソー	10,192,100
株式会社豊田自動織機	7,756,062
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	7,280,800
日本発条株式会社	7,220,500
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,914,700
豊田通商株式会社	4,367,100
トヨタ紡織従業員持株会	2,123,519
資産管理サービス信託銀行株式会社	1,108,600

## ●配当金の推移



当社は、安定的な配当の継続を基本に、連結業績および配当性向などを総合的に勘案し、株主の皆様のご期待にお応えしていくことを配当の基本方針としています。

## 会社データ

設立 ..... 1950年5月  
 資本金 ..... 8,400百万円  
 従業員数 ..... 単独 8,151名 連結 29,291名  
 本社 ..... 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地

## 役員 [取締役および監査役]

取締役会長	箕浦 輝幸	取締役兼専務役員	野田 憲一
取締役社長	豊田 周平	取締役	内山田竹志
取締役副社長	野口 満之	取締役	宮木 正彦
取締役副社長	飯田 耕次	常勤監査役	桂木 正樹
取締役兼専務役員	中川 泰	常勤監査役	伊藤 嘉徳
取締役兼専務役員	伊藤 文隆	監査役	豊田 章男
取締役兼専務役員	古澤 昭	監査役	濱田 隆一
取締役兼専務役員	寺坂 幸一	監査役	加藤 宣明
取締役兼専務役員	上田 広司		

## 主な製品



### ●内装品

シート、ドアトリム、天井、カーペットなどから構成される移動空間を統合的・効率的にコーディネートされたシステムとして捉え、総合的な美しさや快適性・安全性を追求しています。



### ●フィルター・パワートレイン機器部品

世界をリードするフィルトレーション技術を駆使し、吸気システム製品や、エレメント交換型オイルフィルターなどのエンジン潤滑系製品、車室内空調系フィルター製品などの開発・生産を行っています。



### ●繊維・外装品他

繊維事業ではエアバッグ用布製品、シートファブリックや天井表皮材などの分野で新規素材開発を行う一方、環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます。また、外装品事業では補給用バンパー、フェンダーライナーやエンジンアンダーカバーの生産を行っています。

## 株式事務のお取扱いについて

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金支払株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施するときは9月30日
株主名簿管理人 および特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

### ご注意

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式に関するお手続きについて

### ■ 特別口座に記録された株式

ご照会等の内容 お手続き	<ul style="list-style-type: none"><li>● 特別口座から一般口座への振替請求</li><li>● 単元未満株式の買取（買増）請求</li><li>● 住所・氏名等のご変更</li><li>● 特別口座の残高照会</li><li>● 配当金の受領方法の指定※</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li><li>● 支払期限経過後の配当金に関するご照会</li><li>● 株式事務に関する一般的なお問合せ</li></ul>
お問合せ先	特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	株主名簿管理人
	【手続き書類のご請求方法】 ● 音声自動応答電話によるご請求 <b>0120-244-479</b> （通話料無料） ● インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>	

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

### ■ 証券会社等の口座に記録された株式

ご照会等の内容 お手続き	<ul style="list-style-type: none"><li>● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li><li>● 支払期限経過後の配当金に関するご照会</li><li>● 株式事務に関する一般的なお問合せ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 左記以外のお手続き、ご照会等</li></ul>
お問合せ先	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	口座を開設されている 証券会社等にお問合せください

### お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711（通話料無料）